

真弓

MA

YUMI



August 8
2016

PUBLIC INFORMATION MAGAZINE OF UMEGAOKA

No. 78



医療法人 主愛会 日立梅ヶ丘病院

祭

祭

祭

祭

祭

祭

祭

祭

祭

祭

祭

祭

第32回盆踊り大会開催!!

平成28年7月20日(水)毎年恒例の病院行事、第32回盆踊り大会が開催されました。外来・入院患者様、グループホーム入所者様、ご家族様、地域の方々が参加しました。今年は途中で雨が降ってしまい、スケジュールを早めての終了となりましたが、北町鳴物会の方々のお囃子に合わせて、患者様、家族様、職員が一体となることができました。さらに、焼きそばやジュース、お菓子が振る舞われ、最後には花火が打ち上げられ、祭りを満喫できました。「日立梅ヶ丘病院に夏が来た!」事務長代理の言葉通り、大盛り上がりの日でした。

この日のために、何日も前から実行委員が計画をし、^{やぐら}櫓作り等準備を進めて来ました。



↑何もない駐車場に^{やぐら}櫓を作ります。
↓櫓の上は、こんな感じです。



夜になると...

初めて参加しましたが、面白かったです。

^{やぐら}櫓も当日はとても雰囲気が出ていました。<心理士>

手作りのイス↓



今年の司会はこの2人!!

職員も浴衣を着て雰囲気づくり♡



日立梅ヶ丘病院が誇る名司会者の最強タッグ!!
多機能型事業所 宇原さん&医療福祉相談室 高林主任



来年も頑張ります!?



祭

祭

祭

祭

祭

祭

祭

祭

祭

祭

祭

祭



18:10 いよいよ盆踊り開始です！！本物のお囃子で一気に盛り上がります。

患者様は本当に踊りが上手！職員は患者様を真似て踊ります。車椅子の患者様も職員と一緒に楽しんでいました。



患者様も年に一度のこの日をとても楽しみにしています。朝早くから支度をしている方、普段は居室から出ない方も盆踊りの輪の中で張り切って踊っていました。
準備は大変ですが、やってよかったと思える瞬間です。
＜病棟主任＞

↓毎年お囃子演奏をして祭りを盛り上げて下さる北町鳴物会の皆様です。マイクが出ないというトラブルも…自慢の地声でカバーしてくれました。ありがとうございました！



盆踊りをしていると…
どこからともなくいい匂いが…
焼きそばおいしいです！ ＜看護助手＞



マイクは残念でしたが、梅ヶ丘病院の職員のまとまりに毎年感心しています。患者様が楽しみにしているので、これからも協力してやっていきましょう。＜北町鳴物会の方＞



18:50 雨が降ってきました。
皆、雨宿りです…



こっちも取材して！の声で向かうと…↑
認知症病棟の患者様が室内から盆踊りに参加していました。お囃子に合わせて手を動かし、楽しんでいました！

途中雨が降ってきましたが、皆さん最後まで楽しく踊れ、花火も見られて良かったと思います。＜精神保健福祉士＞



最後は花火で！！

花火の下では…
梅ヶ丘花火師たちが目まぐるしく動いていました！

今年は準備・本番共にスムーズにいきました。実行委員はベテランが多く助かりました。新人もベテランも協力してできたので良かったです。
＜実行委員長＞



認知症について楽しく学ぼう！！

重度認知症デイケア 佐藤邦彦・認知症疾患医療センター 阿部史織

特別養護老人ホーム山水苑(下深荻町)にて、新人介護職員を対象とした認知症の症状と特徴、認知症の基礎知識と対応方法についての講演依頼を受け、認知症疾患医療センター友部・阿部(精神保健福祉士)、やまゆり佐藤(作業療法士)で出向き、一緒に認知症について楽しく学べるような講演をさせていただきました。ただ、新人職員といっても年齢層が広く、新卒で入職した方に比べ、他施設での介護経験はあるが、“山水苑では新人扱い”という方も多くいた為、山水苑の担当者様と講演内容を綿密に詰めて当日を迎えました。



研修会内容としては、前半に〈認知症の症状と特徴について〉、後半に〈認知症の基礎知識と対応方法について〉といった内容で前半後半に分けて行いました。前半ではそれぞれの認知症に関する特徴や出現する症状に関しての講演を30分程度行いました。

後半部分は寸劇を交えて説明した場面や、簡単なワークショップを取り入れた場面では、私たちと参加者とがやり取りしながら、楽しい雰囲気の中で研修をすすめることが出来ました。



研修会への参加は約30名。参加者は業務後であったにも関わらず、多くの方々が出席してくださいました。私たちもやる気に溢れる参加者の姿勢に良い刺激を受け、もっと患者様やご家族に必要とされる病院を目指して、スタッフ一同歩んでいきたいと感じました。

これから先、また研修会の話を受けたときには、梅ヶ丘病院が地域に根差した頼れる病院となるように、そして県北地区が認知症の方が住みやすい地域になるように、微力ではありますが努力していきたいと思えます。

ストレスチェック検査の実施

衛生管理委員会 小野浩子

ストレスチェックとは、①労働者のメンタルヘルス不調の未然の防止、②労働者自身のストレスへの気づきを促すこと、③ストレスの原因となる職場環境の改善につなげることの3つを目的として、労働安全衛生法で定められている制度です。



当院では初めての試みであった為、実施前に2回説明会も行ない、6月27日から7月1日まで実施しました。



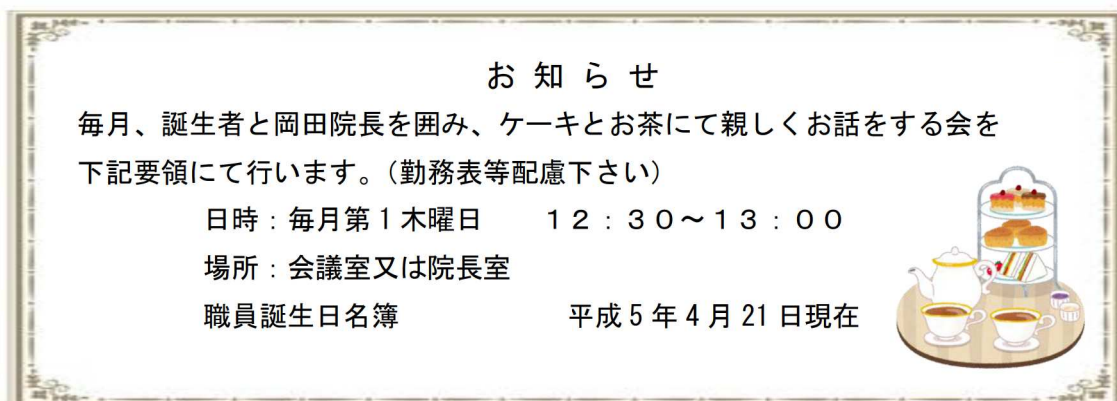
検査の結果、高ストレスの人は産業医の面談を受け、必要に応じ就業上の措置を講じます。今回のストレスチェックでは243名が受診し、内39名が高ストレスであることが明らかになりました。

尚、8月27日に開催されるストレスチェック実施者研修会に衛生管理委員会の3名が参加して、次回からの検査がよりスムーズに実施出来る様にいたします。

日立梅ヶ丘病院、今は昔…？

E 棟 渡部三千子

原稿を依頼される 3 日前のことでした。机の中を整理していて、偶然にも懐かしいプリントを見つけました。



4 つに折られた A4 のプリントは、今にも折り目が破けそうで、色も薄くセピア色になっていて歴史を物語っていました。当時職員の数は医師も加えて 116 名でした。現在、残っている職員は 14 名です。“十年ひと昔”と言うと、昔々のお話です。ちなみにひと回り（1 年）で、該当者の集まりが悪いという理由で終了しました。

さて、私が当病院に就職したのは、昭和 61 年 11 月 4 日です。閉鎖病棟に配属になり、はじめての精神看護を学ぶことになりました。先輩から精神看護の原点は「生活指導」からと教えられ、今でも心の中に宿し、活かしているつもりです。

当時の岡田（正勝）院長は、「自身又は家族が不幸にして病気になった場合、安心して入院できる病院にしたい」と、いう信念を掲げていました。私は、この信念に深く感動し、心に刻み込まれています。亡くなった今も思い出します。また、岡田院長を思う時、ユニークでありながら優しさを感じさせた、忘れられない言葉があります。



故 岡田正勝前院長

- ①「君たちは、昼間精一杯働いて夜学校に来て、疲れているだろう。寝なければ我慢せず寝ていいぞ」日立メディカルセンター看護学院の講義での一言です。岡田院長の講義では誰一人寝た生徒はいませんでした。話上手。
- ②「時間のかかる会議はバカの集まり」会議のある前後に口癖のように言っていました。
- ③「君たちは、誰かに『誰のために働いているのだ？』と聞かれた時、院長とか自分のために働いているなど、間違っても言うな。君たちは『患者のため』と答えるのだ」…亡くなる 1 年前の新年のあいさつです。

本題に戻ります。

・昔はこんなことをしていました。（現在続いている盆踊り・梅ヶ丘祭も含んで）

クラブ活動 : ハイキング・釣り・書道・遠足（1 泊もありました）・カラオケ
行事 : 海水浴・キャンプ・料理教室・運動会



- 友の会 : 家族参加バーベキューの会・ソフトボール大会・花見（夜桜の会）
納涼会
- 職員旅行 : 毎年恒例（1泊）。今回の写真は私が就職して1年目の旅行先です。
: 最終は30周年記念にて岡田院長の生まれ故郷篠島へ、平成12年9月、3班に分れて
2泊3日で行きました。
- 忘年会 : 職員全体（割烹旅館で）特に医局の余興は見応えがありました。

現在、川崎部長はじめ若い世代が看護部を築いています。看護の3要素として知識・技術・精神とありますが、私には強いて言えば精神しか残っていません。特に医学は日進月歩変わりますので昔人は頭が弱いです。それでも誰かの役に立てばと、心の隅にあってそれなりに楽しく働かせていただいています。（只今パート）

現院長に心から感謝しております。

昔は昔、今は今、院長と看護部が一丸となって、新しい歴史を作っていただきたいと願っております。



現在も在籍されている
方が何人かいます。
ぜひ探してみてください
い…！



平成12年9月 篠島行きフェリー乗り場にて



販売の時「たまご後で買います。」と言う人はまず買わない

～まゆみの里、開所 10 年目を迎えて～

多機能型事業所まゆみの里 深谷俊一

皆様のご助力のもと、まゆみの里は今年で開所 10 年目を迎えることができました。現在、39 名の利用者が就職を目標に通所しています。就労移行支援を主目的として活動し、障害者就業・生活支援センターをはじめ、様々な機関と連携しながら就労支援を展開しています。また、指定特定・障害児相談支援事業所や児童発達事業所も徐々に認知度が高まり、利用人数も増えつつあります。

まゆみの里では、養鶏作業、内職作業の 2 項目の作業を提供しています。施設内作業では、新たな内職提供事業所の開拓ができ、現在、約 10 種の作業の提供が可能になりました。養鶏作業では、廃鶏時期を見直したことや敷材を入れ替えの時に交換し鶏舎の環境改善をしたことにより採卵率が上がり、コンスタントに納品することができるようになりました。利用者の工賃についても、沢山の事業所や店舗の協力、外来販売を毎日行うことにより、前年度より向上させることができました。



閑話休題

は～い！ここで突然CMで～す。はい。「卵はどこで買えるの？」という質問を受けることがあります。納品や販売の時はほぼ聞かれます。なので、今から卵を納品している店舗の紹介をします。ここ重要です。よ～く読んでください。卵は、JA日立市多賀、JA常陸太田地区の「せやの径」「さとの径」、よって家FM(鹿島町)、あかつ水産(水木町)、おさかなセンター(みなと町)、ひたちなか市のなかよし館、那珂市のサンファームなるみ等幅広く納品しています。ぜひぜひ、ご購入、ご協力の程よろしく願います。

CM終了

今後も施設内の作業だけではなく、院内や地域の行事等に積極的に参加することで、利用者が楽しく通所できる事業所にしていきたいと思えます。

※題名は、販売アルアルだそうです！

編集後記

今回は「夏」をテーマに編集を行ないました。毎年 7 月に開催される盆踊り大会では、患者様や外部の方々にたくさん参加していただき、とても賑やかな盆踊り大会になりました。

個人的な話になりますが、初めて編集に参加させていただき、新たな魅力をたくさん発見できました。梅ヶ丘病院の魅力を皆さんにお届けできるよう努力して参りますのでよろしくお願い致します。

編集員 花田龍馬



作業療法ボランティア紹介④ 梅雨も吹き飛ばす音楽会



作業療法室 金澤ともみ 鈴木才子

6月16日に茨城県警察音楽隊の方々による演奏会、その名も「おまわりさんの音楽会」が行われました。トランペットやクラリネットなどたくさんの楽器が勢ぞろいし、本格的な演奏会となりました。

演奏会では、クレイジーキャッツやビートルズの曲に演歌メドレーが披露されました。女性警察官によるカラー・ガード隊のフラッグ演技では、患者様だけでなく職員も目を輝かせて観ており、心なしか拍手も一番大きく聞こえました。また、あの有名な和田アキ子の「あの鐘の音を鳴らすのはあなた」が演奏されたときは、警察官の方が最後にマイクを持って前に出て歌うなど、大きな盛り上がりを見せました。最後には患者様のアンコールにより、「上を向いて歩こう」が会場中に響きわたり、素晴らしい時間を過ごすことができました。

今年4月に日立梅ヶ丘病院に就職し、演奏会に参加したのは初めてでしたが、来年も楽しみにになりました。



外来診療担当表

H28.8 現在



	休診日 日曜・祝祭日・第2.3.4.5土曜					
	月	火	水	木	金	第1土
新患	大和田	石川	清水	院長	萩野谷	
再診	石川	萩野谷 院長	後藤 大和田	清水	後藤	後藤

※第1・3・5土曜日は、作業療法・精神科デイケアを行っています。



外来・入院のご相談

初診・再診共に月曜日から土曜日まで
全て予約診療となっております。
お電話にて予約を承ります。

電話受付時間:

月曜日～金曜日 8:30～17:00

土曜日(第1・3・5) 8:30～12:00

※予約変更は、平日 14:00～16:00

0294-34-2103

医療法人 圭愛会 日立梅ヶ丘病院

所在地 : 〒316-0012

茨城県日立市大久保町 2409-3

TEL : 0294-34-2103

FAX : 0294-33-1800

URL : <http://umegaoka.or.jp>

E-mail : info@umegaoka.or.jp

広報誌「真弓」部会

富田 加代子

瀬谷 美喜子

阿部 史織

花田 龍馬

川村 明日美

